

整理番号	HT29153	分野	医歯薬学・化学	キーワード	和漢薬、病院調剤
------	---------	----	---------	-------	----------

研究機関名	富山大学				
プログラム名	こんな工夫があったんだ！～病院薬剤師が教える和漢薬に秘められた先人達の知恵と技～				
先生(代表者)	加藤 敦(かとう あつし) 附属病院薬剤部・准教授				
自己紹介	私は城郭を巡るのが大好きです。現地に足を運ぶと、写真や図面では感じられない築城者のこだわりが伝わり、自分だったらどう攻めてみようか、城主もこの場所から同じ風景を眺めていたのか等々、好奇心とワクワクでいっぱいになります。「故きを温ねて新しきを知る」長い年月をかけ日本の文化・風土により独自の進化を遂げた「和漢薬」、その中に新しい薬のヒントが隠されていると信じています。皆さんも本プログラムを通して、色々な「ひらめき☆ときめき」を、ぎゅっと濃縮して持ち帰ってください。				
開催日時・募集対象	平成29年7月22日(土)	受講対象者	中学生 高校生	募集人数	20名
集合場所・時間	富山大学杉谷キャンパス 附属病院正面玄関前	(集合時間)	9:30		
開催会場	富山大学杉谷キャンパス 医薬研究棟7F ゼミ室8 住所: 〒930-0194 富山県富山市杉谷 2630 アクセスマップ: http://www.u-toyama.ac.jp/access/sugitani/index.html				

内 容

病気になった時に飲むお薬。あんなに小さな錠剤や粉薬なのに、熱を下げたり、おなかが痛いのを治してしまうのって不思議ですよ。今、皆さんが使っている西洋薬がなかった時代、昔の人たちはどうやって病気と闘っていたのでしょうか？何千年も前に書かれた中国の医学書や江戸時代の書物には、人々が生薬と呼ばれる「薬になる植物」を様々に組み合わせた「和漢薬」を駆使して全く異なる病気や症状に立ち向かっていた様子が書かれています。現在、和漢薬は不定愁訴や更年期障害、アレルギーなど、西洋薬が苦手とする疾患領域に対して、「治療薬」としても用いられるだけでなく、服用により病気にならないようにする「未病」の観点からの使用にも注目が集まっています。今回の体験実習では皆さんが自由に生薬を手に取り、形や味や匂いを体感してもらい、「こんな身近な植物も薬の材料になるの?!」という驚きを味わってもらいます。また、普段、病院や薬局で薬剤師さんほどの様に薬を調剤しているのでしょうか？私たち病院薬剤師が和漢薬調剤の知恵と工夫を特別に教えちゃいます。未来の薬剤師・研究者を大募集中です！



スケジュール	持 ち 物
9:30～10:00 受付(杉谷キャンパス 医薬研究棟 7F)	筆記用具 ・動きやすい服装 ・昼食はこちらで用意 します。 (アレルギーのある方 はご自分で昼食の用 意をお願いいたしま す。) <b style="background-color: #ffffcc;">特 記 事 項 ・保護者の方も一緒に 実習に参加できます。 ・生薬を触ったり、煎じ 液を試飲したりします。 また、薬膳弁当の原材 料に、アレルギーを引 き起こす食品が含まれ る場合があります。受 講者には事前にアレ ルギー調査用紙をお 送りしますので、必ず 返送してください。
10:00～10:30 開講式(あいさつ、日程説明、自己紹介、科研費の説明)	
10:30～10:45 講義①:「漢方の考え方・診断と治療を学んでみよう」	
10:45～12:15 実習①:「和漢薬の成り立ちを考え、生薬の特徴を体感しよう」 「生薬を触れて、嗅いで、味わってみよう！」 「薬剤師さんのお仕事体験！～調剤してみよう～」 「煎じた和漢薬を飲み比べてみよう！」	
12:15～13:00 昼食休憩(薬膳弁当)	
13:00～13:45 附属病院薬剤部の漢方調剤室見学 (実際に和漢調剤を行っている現場をツアーでまわります)	
13:45～14:00 講義②:「なぜ薬には、いろんな剤形があるのでしょうか？」	
14:00～15:00 実習②:「和漢薬の剤形(カタチ)を学んでみよう！」 「練って、丸めて桂枝茯苓丸を作ってみよう！」	
15:00～15:15 クッキータイム(味覚を変える不思議な植物)	
15:15～16:00 実習③:「生薬に含まれる成分を分離してみよう！」 「TLC でカラーインクの成分を分離してみよう！」 「生薬成分を分離して検出してみよう！」	
16:00～16:15 学習の振り返り、アンケート記入	
16:15～16:30 修了式(ときめき☆未来博士号授与、あいさつ)	
16:30 終了・解散	

《お問合せ・お申込先》

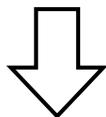
所 属 ・ 氏 名 :	病院事務部病院総務課 病院総務チーム 安土 美恵(あづち みえ)
住 所 :	〒930-0194 富山県富山市杉谷 2630
T E L 番 号 :	076-434-7019
F A X 番 号 :	076-434-1463
E - m a i l :	hosoum@adm.u-toyama.ac.jp
申 込 締 切 日 :	平成29年7月7日(金)

※当プログラムは定員を超えた場合は申込締切日後に抽選を行い、7月14日(金)までに郵便(またはメール)にて全員にご連絡します。

《プログラムと関係する先生(代表者)の科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
加藤 敦	H23-H25	基盤研究(C)	23590127	ゴーシェ病治療薬開発を指向したイミノ糖型シャペロンのデザイン合成研究

加藤 敦	H26-H28	基盤研究(C)	26460143	変異酵素の構造安定化剤として機能するイミノ糖型シャペロンの設計と合成
加藤 敦	H29-H32	基盤研究(C)	17K08362	テイーサックス病治療に最適な高親和性シャペロン化合物の創製



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。